

認定こども園東光寺幼稚園教職員自己評価報告書 *令和4年度

教育重点目標について1学期・2学期・3学期末に自己評価をした結果を報告します。

1.自己評価者名簿（職務）

横田 千代子（副園長）	渡邊 朋嘉（年長担任）	湯本 和美（年中組担任）	松栄 麻衣子（特別支援）	高橋 裕子（2歳児 TT）
大友 里奈（主幹保育教諭）	大島 楓（年長組担任）	大竹 恵子（特別支援）	長竹 朝美（年少組副担任）	澤田 茉柚（0・1歳児主任）
田島 賀津子（延長保育・特別支援）	深山 寿江（特別支援）	深津 恵（年少組学年主任）	津久井 小百合（年少組副担任）	吉田 小緒里（0・1歳児担任）
米山 貴子（子育て支援・延長保育）	高久田 麻衣（年中組学年主任）	石川 絵理（年少組担任）	大島 実穂（2歳児主任）	星野 里枝（0・1歳児 TT）
村岡 明子（指導保育教諭）	木村 雅（年中組担任）	秋山 琴菜（年少組担任）	大屋 久江（センターフリー）	橋本 淑子（延長保育）

2.使用した資料

【1】東光寺幼稚園の概要 冊子「ikiikids」

【2】本園の創立理念 今年度の重点目標、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、トキメキ・ヒラメキノート、指導計画等

3.自己評価結果

令和4年度重点目標 自分で考え工夫する子ども									
基準	取組指標	取組結果(1・2・3学期)			基準	成果指標	成果(1・2・3学期)		
*子どもが意欲的に遊びを進めるための環境の構成									
4	子どもの発達に即したもの環境としておく。	平均 2.7	平均 3.0	平均 3.0	4	自分たちでアイディアを出しながら、遊びを楽しむようになった。	平均 2.8	平均 3.1	平均 3.3
3	子どもが必要と感じたときにタイミングよく遊具・用具・素材等を提示する。				3	環境として置かれたものからイメージをあげ、自分たちで遊びを作り出したり、発展させたりするようになった。			
2	子どもの遊びや興味・関心に応じた遊具・用具・素材等を準備する。				2	興味を持って繰り返し遊んだり、試したりするようになった。			
1	外・室内・廊下・ウッドデッキ等、遊びを選べるコーナーを準備する。				1	興味を持った物を自ら選んで遊びに取り入れるようになった。			

* 幼児一人ひとりが自己発揮できるために										
4 3 2 1	子どもの思いと保育者の意図がバランスよく、そして、子どもたちが上手く繋がり合うよう関わる。 幼児理解したことに基づいて、子どもと関わる。 保育の振り返りや記録から一人ひとりの子どもの内面を理解する。 トキメキ・ヒラメキ・気づき・発見を毎日見つける。			平均 2.5 ↑	平均 3.0 ↑	平均 3.0 ↑	4 3 2 1	友だちの思いを受け入れて、目的をもち、遊びが続くようになった。 友だちと気持ちを出し合いながら遊ぶようになった。 自分の遊びに集中して遊ぶようになった。 自分の遊びを見つけて遊ぶようになった。		
								平 均 2.8 ↑	平 均 3.1 ↑	平 均 3.3 ↑

* 同僚性を高める園内研修の実施										
4 3 2 1	日々の学年での時間の中で教育要領を用いて、幼児の発達について考えていく。 園内研修での学びを保育の中で継続的に実施する。 保育の振り返りで幼児の内面について考え、翌日の環境に生かす。 その日の保育について、学年で毎日振り返りをする。			平均 2.4 ↑	平均 2.9 ↑	平均 2.7 ↓	4 3 2 1	保育の中で気づいたことや子どもの遊びが充実したことを伝え合うようになった。 子どもの様子や育ちについて話し合う姿が増えてきた。 学んだことを活かしている同僚の保育に関心を寄せるようになった。 子どもの興味・関心を捉えるようになった。		
								平 均 3.2 ↑	平 均 3.5 ↑	平 均 3.7 ↑

【1学期と2学期の比較】 各項目の平均評価点数が0.3~0.5上がりました。

【2学期と3学期の比較】 *重点目標「自分で考え工夫する子ども」*「幼児一人ひとりが自己発揮できるために」の項目は、現状維持の点数が0.2上がりました。*「同僚性を高める園内研修の実施」取組指標が0.2下がり、成果指標は0.2上がりました。3学期は、お遊戯会や卒園式などの大行事の準備に重点が置かれがちで、取組指標の低下につながったと考えられます。一方で、行事を通して子ども達の成長が明確になり成果が上がったと考えられます。

【今後の自己評価】 行事準備の効率良い方法を考えていきたいと思います。また、次年度は「教職員・幼児の安全対応力を高める。」項目も加えて評価して行きたいと考えています。